



メキシコ大使館訪問

2月12日(木)、本校4,5年の有志生徒30名が、メキシコ大使館を訪問しました。職務の関係で大使は不在でしたが、主席公使、文化担当官、科学技術担当官をはじめとする職員の方々に温かく迎えていただきました。はじめに、学校の概要と先月行われたメキシコ交流について、桜修館の生徒が英語で紹介しました。続いで講話では、メキシコにおける女性のエンパワーメントの経緯と現状、現在の取り組みについてお話いただきました。さらに、今年メキシコで試合が開催されるFIFAワールドカップにちなんだシュートゲームや、古代マヤ文明で用いられた数字を用いた計算ゲームなど、体験を通じて様々なメキシコの文化に触れることができました。質疑応答や自由時間にはメキシコの現状や大使館での仕事について興味をもって積極的に交流する生徒の姿も見られ、生徒一人一人がメキシコについての理解を深めることができました。最後に大使館職員の方々との写真撮影を行い、充実した訪問を終えました。

生徒の感想

- ・間違いなくめったにない貴重な機会でした。大使館という普段入ることのできない場所で、実際に外交官として働いている方々とお話することができたことに感動しました。第二外国語として学んでいるスペイン語を活用する機会にもなり、スペイン語圏の文化と国際交流についてさらに興味関心が深まった一日でした。
- ・大使館で、英語で発表を行うというのは初めての経験でした。緊張もあったが、英語やプレゼンテーションの技能を試す良い機会となりました。体験も含んだ講話は、楽しみながら学びも多く、実り多い時間だったと感じました。
- ・私からはメキシコとの交流プログラムについて報告をさせていただきました。1月の交流で得た学びを、改めて振り返ることができ、大変良い機会となりました。また、大使館職員の方々はお忙しい中でも本当にフレンドリーに接していただき、メキシコの人々の温かさを感じました。この貴重な訪問を企画してくださった在日メキシコ大使館、及び東京都教育委員会の皆様に改めて御礼申し上げます。
- ・英語が母語ではない方々とお話できたので、今まで学んできた英語をしっかりとコミュニケーションツールとして使っている実感が持て、良い経験になりました。また、過去にほんの少しだけ学んでいたスペイン語の単語も使うことができました。最初は緊張していましたが、大使館の方々の温かい空気に包まれてとても楽しめました。僕にとって大使館はほとんど行くことがない場所なので、今回は貴重な経験ができてよかったです！